マーケットデイリー
SMAM
（No.2,526）
〈マーケットレポートNo.4,943〉
2016年8月5日
情報提供資料
資産形成なら SMAM

今日のトピック BOEの金融政策（2016年8月）

金利、量、質の３つの面から金融緩和

ポイント1 政策金利を0.25%引き下げ

量的緩和の規模を拡大

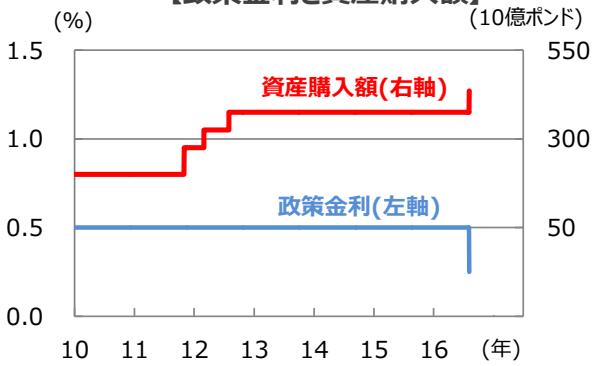
■イングランド銀行（BOE）は、4日の金融政策委員会で、利下げや量的緩和拡大などを柱とする、金融緩和策を決定しました。英国の欧州連合（EU）離脱選択で景気悪化懸念が強まる中、金融緩和拡大で景気下支えを狙います。

■政策金利は0.5%から0.25%に引き下げ。

■量的緩和の規模は、国債の購入枠を600億ポンド上乗せして4,350億ポンドにします。さらに英国企業の社債を最大100億ポンドを別途買い入れます。

■BOEが銀行などに低金利で最大約1,000億ポンドを貸し出す仕組みも導入します。

【政策金利と資産購入額】

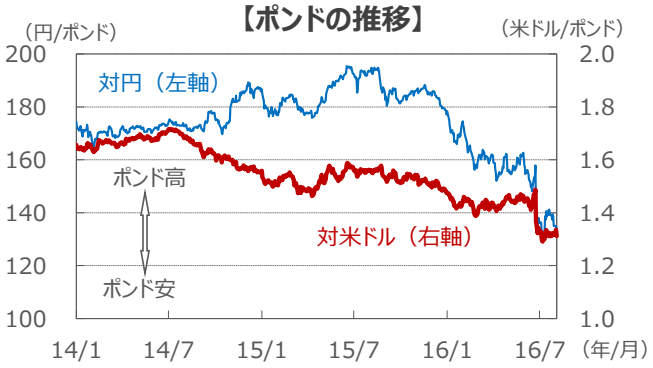


（注）データ期間は2010年1月2日～2016年8月4日。
（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 経済見通しを大幅下方修正

■BOEは同日発表のインフレ報告書で、17年のGDP成長率見通しを0.8%と、前回5月の報告書より1.5%引き下げました。一方、17年の消費者物価上昇率はポンド安を見込み、2.0%と、前回から0.2%引き上げました。

【ポンドの推移】



（注）データ期間は2014年1月1日～2016年8月4日。
（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 英ポンドは下落圧力を受けやすい

■BOEは、今後、成長率が想定以上に下振れるようであれば、金融緩和政策をさらに拡大する余地があるとしています。このため、早期追加緩和の可能性もありますが、当面は政策効果を見極める時間帯に入るため、据え置きが見込まれます。

■BOEの大規模な金融緩和策に為替市場は反応し、英ポンドは4日、対ドルで１ポンド＝1.31ドル台と、約１週間ぶりのポンド安・ドル高水準を付けました。英国のEU離脱選択に伴う不透明感から当面英ポンドは下落圧力を受けやすい地合いと見られます。

ここもチェック!
2016年8月 4日 最近の指標から見る欧州経済（2016年8月）
2016年7月22日 ECBの金融政策（2016年7月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。